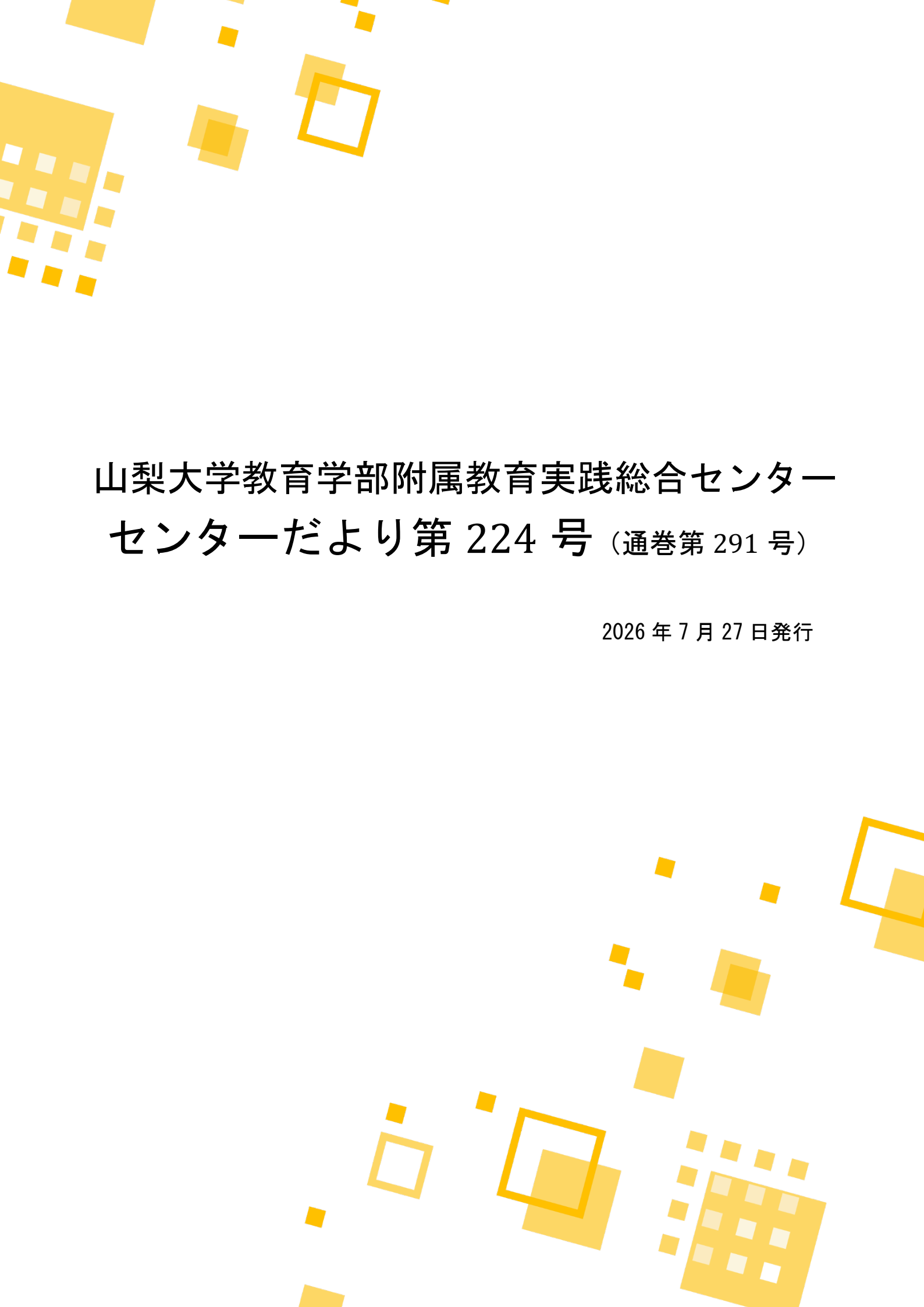




山梨大学教育学部附属教育実践総合センター センターだより第 224 号（通巻第 291 号）

2026 年 7 月 27 日発行

コンテンツ一覧

■ 令和 8 年度第 1 回連携・教育研究会 実施報告

■ 令和 8 年度期間採用者等研修 実施報告

■ 各種リーフレットやご案内について

・ 山梨大学 やまなし情報教育推進室学習会(8 月 18 日)
「生成 AI は、授業づくりをどのように変えるのか？」のご案内

■ はじめての生成 AI

■ 8・9 月の主な行事予定

令和8年度 第1回連携・教育研究会 実施報告

山梨県総合教育センターと山梨大学附属教育実践総合センターの連携により、第1回連携・教育研究会を開催いたしました。顔合わせを兼ねて、今年度の事業計画等を協議し、教育実践・研究に関する情報交換を行いました。

1 日 時 令和8年5月18日（月） 【全体会】 15：00～15：30

2 会 場 山梨県総合教育センター

3 出席者

<実践センター>

新野センター長、中込司特任教授、飯島客員教授、河西客員教授、桐原客員教授、河野客員教授、田之口客員教授、廣瀬客員教授、保坂客員教授、三井客員教授、萩原教授、望月教授、渡邊教授、三井准教授、渡部准教授、笠井准教授、小宮山准教授

<山梨県総合教育センター>

中村所長、萩原情報教育推進官、佐藤義務次長、長沼県立次長、林管理部長、鶴田ICT教育支援センター長、輿水相談支援センター長、小山研修指導課長、石井業務推進主任、竹野キャリアアップ研修主任、平沼教育研究推進幹、永田指導主事、河西指導主事

4 協議内容

(1) 連携・教育研究会について

・令和7年度の実施状況と今年度の事業概要・・・全ての内容について承認された。

(2) その他

・子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会・・・全ての内容について承認された。

5 連絡事項

・研究支援の概要説明



【分科会】 15：30～15：50

全体会終了後、6つの分科会（小学校、小中連携、高等学校、情報教育、教育相談・教育支援、特別支援教育）に分かれて、自己紹介や研究の方向性等の確認を行った。

「令和 8 年度 期間採用者等研修」の報告

— 山梨県教育委員会・山梨大学連携事業 —

研修の機会が充分でない期間採用教職員等や、教育に関する実践力を高めたい若手教員、学生・院生に対して、教育に関する基本的な理念、教職についての基本的な知識、さらには実践的指導力を身に付けるための研鑽の在り方等といった内容を主とした研修を山梨県教育委員会と連携し、開催しました。

- 1 実施日時 令和 8 年 5 月 16 日（土） 9：20～12：00
- 2 実施方法・会場 対面およびオンラインによるハイフレックス方式で開催（M-11 教室他）
- 3 研修会の様子

研修 1(全体研修) 9:30～10:30

「支援を必要とする児童・生徒も含めた人間関係づくり」

現在の学校現場で喫緊の課題でもある「特別支援教育」に関わり、貴重なご講演をいただきました。講師の先生の熱心なお話に引き込まれ、60 分間という時間はあっという間に過ぎてしまいました。受講者からは、「もう少し話をお聞きしたかった」という声が多く寄せられ、実り多き研修となりました。

＜研修 1 のアンケートより 一部紹介＞

- ・日常で目を背けがちなこともあり、改めて子どもたちと向き合う際に大切にしようと思えることがたくさんありました。ありがとうございました。
- ・基礎的な環境調整や合理的配慮に関する具体的な例をたくさん挙げてくださったため、これからできることを具体的に想像できてよかった。



大月市立猿橋小学校
北畑 貴美 教頭

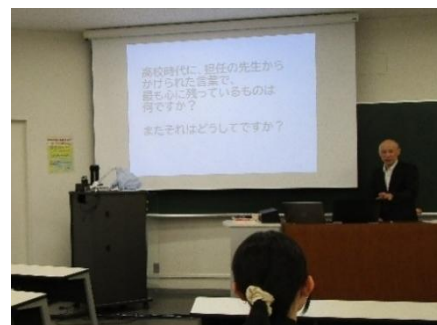
研修 2(校種別分科会) 10:40～11:50 「児童・生徒理解に向けた学級づくりのヒントと授業工夫」



山梨市立笛川学園
雨宮 正倫 教諭



富士吉田市立下吉田中学校
藤原 聡 教諭



巨摩高等学校
小澤 幸生 教頭

続く校種別研修会では、現場の先生方が日々向き合っている「児童生徒理解と学級づくり」に焦点をあて、貴重なお話をいただきました。講師の先生方による実践的なアドバイスや、教員採用試験等を見据えた具体的なお話は、受講生にとって大変ためになるものばかりでした。これからの教師としての在り方を深く学ぶ、大変有意義な研修となりました。

＜研修 2 のアンケートより 一部紹介＞

- ・まだまだ分からない事ばかりなのに、たくさん仕事をこなさないとけない日々で不安でいっぱいでしたが、今回の研修でこういうときはこうすればいいんだという流れや、生徒や保護者とどう向き合っていけばいいのかなど、普段学ぶことが少ないことについて知ることができてよかったです。
- ・実践に基づく問題の解決方や授業の作り方をお聞きすることができ、今後自分も実践していきたいと感じた。またこの研修の中で「つやってみよう」という見つけてほしいという講師先生のお話から、自分は「生徒のことをよく観察し、生徒理解に努め、背景にあった指導を心掛ける」ということを特に意識してやっていきたいと考えた。

生成AIは、 授業づくりを どのように 変えるのか？



講師 安藤 昇 先生

スタディサプリ「情報I」講師
青山学院中部・青山学院大学 非常勤講師
YouTube「GIGAch」登録3万人超
NEE・EDIX 登壇

■ プログラム 9:30～12:00 (途中15分休憩)

第1部 講演・演習 安藤 昇 先生

■ 生成AIを活用した授業づくりの考え方

■ 学校現場での生成AI活用の具体例

■ 子どもの学びと教師の役割

■ 参加者による体験・演習

第2部 対談・参加型ディスカッション

安藤 昇 先生 × 稲垣 俊介 先生

スタディサプリ「情報I」講師 山梨大学教育学部 准教授

講演を踏まえ、参加の先生方も交えて、生成AIを授業づくりにどう生かすか、
これからの学びと教師の役割を一緒に考えます。

■ 開催概要

日時	2026年8月18日（火） 9:30～12:00 ※途中15分休憩
会場	山梨大学甲府キャンパス Y号館（総合研究棟）Y-12教室
対象	小・中・高等学校・特別支援学校の教職員、教育委員会関係者、大学生・大学院生、教育関係者
定員・参加費	40名（先着順） 参加費無料 ※ノートPC等をご持参ください
申込締切	2026年8月12日（水） ※定員に達し次第締切

主催 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター やまなし情報教育推進室

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

TEL 055-220-8325 Email edjissen-as@yamanashi.ac.jp

ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

お申し込みはこちら



はじめての 生成AI

vol.04

—毎回テーマを決めて生成AIについて解説します—

AIも嘘をつく？気をつけるべき3つの落とし穴

前号（vol.03）では、プロンプトの書き方のコツを取り上げました。今号は「生成AIを活用するときには何に気をつければいいの？」そんなあなたへ。

生成AIは完璧ではありません。時には自信満々に嘘をついたり、秘密を漏らしてしまったりすること。トラブルを避けるために、これだけは知っておきましょう！

1 知ったかぶりをする（ハルシネーション）

生成AIは事実を知っているわけではなく、確率的にありそうな言葉をつなげているだけです。そのため、全くのデタラメを、さも事実のようにもっともらしく出力することがあります。これを「ハルシネーション」といいます。

【対策】裏とり（ファクトチェック）は必須です！数値や固有名詞は自分で調べ直しましょう

2 秘密の話は教えない

生成AIに入力した情報は、AIの学習データとして使われてしまう可能性があります。つまり、あなたが入力した機密情報が、巡り巡って誰かの回答に使われてしまうかもしれないのです。

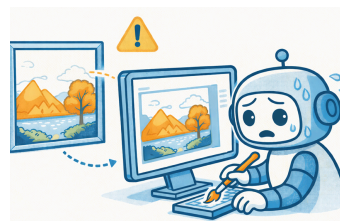
✕ NGな入力例：個人情報、公開していない内容が含まれた会議の録音データ、パスワードなど



3 著作権にも配慮する

生成AIでつくった画像や文章が、既存の作品にそっくりになってしまふことがあります。それをそのまま利用すると、著作権侵害のリスクになる場合があります。

【対策】「〇〇（有名なキャラクター）風の絵を描いて」といった指示は避けましょう。生成物が他人の権利を侵害していないか、公開前に注意が必要です。



まとめ

- ☑ AIは嘘をつく可能性がある。最後は必ず人間がチェックをする癖をつける！
- ☑ 機密情報や個人情報は入力しない！著作権やルールを守って、モラルある使い方を！

8月～9月の行事予定

学習会

○第3回やまなし情報教育推進室学習会

8月18日（火）9：30～12：00

※小・中・高・特別支援学校の先生方、大学生、大学院生、
教育関係者の方を対象に行います・

教員採用試験対策講座

○教員採用試験スタートガイダンス1

8月4日（火）【1部】2年(次年度教採受験者)

【2部】3年、M1(次年度教採受験者)

○教員採用試験スタートガイダンス2

8月26日（水）【1部】2年(次年度教採受験者)

【2部】3年、M1(次年度教採受験者)

○フォローアップ相談会1

8月27日（木）

進路支援

○進路支援ガイダンス 1年

9月28日（月）13：10～14：40

山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

（TEL）055-220-8108 （E-mail）edjissen-as@yamanashi.ac.jp

（URL）<https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/>